

富士通テングループ 第6期環境取り組みプラン (2011.12.08.改定)

テーマ	対象範囲	行動目標
グリーンプロダクト	グローバル	スーパーグリーン製品の開発を新基準で2012年度末迄に25%とする。
	グローバル	環境効率ファクター ^(※1) を2012年度末までに1.7倍にする(基準:08年モデル比)。
グリーン調達・ グリーン物流	グローバル	海外拠点の仕入先 SCM(サプライチェーンマネジメント)の充実を図り、地域ごとの特性に応じた SCM 体制を整備する。 10年:国内 11年:中国 12年:全地域
	日本	国内全拠点での新規契約車でのエコカー導入を100%とする。
	日本	製品輸送における CO ₂ 排出量を毎年、前年度比3%削減する。
グリーンファクトリー・ グリーンオフィス	日本	CO ₂ 排出量(絶対量)2012年度末までに2009年度比2.3%削減する。
	海外	CO ₂ 排出量(生産高当り)を2012年度末までに2009年度比で16.5%削減する。
	グローバル	PRTR ^(※2) 対象物質(鉛・トルエン・キシレン・銀)の使用量(生産高当り)を2012年度末までに2009年度比で32%削減する。
	日本	VOC ^(※3) 排出規制対象物質の使用量を2012年度末までに2000年度比47%削減する。
	日本	廃棄物排出量(絶対量)を2012年度末までに2009年度比で12%削減する。
	海外	廃棄物排出量(生産高当り)を2012年度末までに2009年度比で18.9%削減する。
	グローバル	2012年度末までに4つの海外生産拠点でゼロエミッションを達成する。
環境マネジメント	グローバル	2012年度末までに ISO14001・OHSAS18001 ^(※4) のグローバル複合・統合マネジメントシステムを構築する ^(※5) 。
社会貢献	グローバル	環境貢献活動(地域クリーン作戦・環境団体への寄付など)を2010年度から全拠点で年1回以上実施する。
	グローバル	生物多様性保全活動(植樹、生物多様性に関する教育など)を2012年度までにグループ全拠点で実施する。

(※1)環境効率ファクター

製品の環境負荷と価値(機能・性能)の向上を定量的に捉え、新旧製品の比較を行うもの。より少ない環境負荷でより高い価値を提供できる製品づくりを促進するための環境指標

(※2)PRTR: Pollutant Release and Transfer Register(環境汚染物質排出・移動登録制度)

化学物質を使用している企業が、工場等の操業によって環境中に排出したり廃棄物として処理している化学物質の量を把握して、国や地方自治体などの行政機関に報告し、行政報告されたデータをまとめて一般に公表する制度

(※3)VOC: Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物)

シックハウス症候群を引き起こす恐れのある揮発性有機化合物(イソプロピルアルコール、トルエン、キシレン等)

(※4)OHSAS18001: Occupational Health and Safety Assessment Series(労働安全衛生アセスメントシリーズ)

国際コンソーシアムによって策定された、労働安全衛生に対するリスクと対策の一覧化および責任所在の明確化などを目的とする規格

(※5)ISO14001 は 10 名以上の拠点を対象とするグローバル統合認証。新規拠点設立時は 2 年以内に統合認証に参画。OHSAS18001 は海外含む生産拠点で統合認証を順次取得する。その他非生産拠点ではリスクアセスメントの導入と基礎安全活動を徹底。

以上